

## 編集後記

今回の『探求』には、昨年夏のテーマレクチャー「哲学の現場？」でお話いただいた先生方から寄稿していただきました。近年とみに注目を集めている応用倫理学に関連する話題だっただけに、レクチャー当日は白熱した議論が展開されましたが、紙面からもその模様は十分察せられるように思います。原稿をお寄せいただいた先生方には心から御礼申し上げます。

個人研究発表の部分は、昨年と比べると若干スリムになりましたが、内容に関してはいずれ劣らぬ力作ぞろいです。それぞれに意欲的であるばかりでなく、全体に多彩な内容となったことで、今回もまた一段と読み応えを増した『探求』を読者の皆さんの許へお届けできるのではないかと思います。執筆者の皆様どうもありがとうございました。

今回こうしてまた『探求』を発行できた背景には、旧世話人をはじめ印刷所の方々等、多くの方々のご支援・ご協力があります。最後になりましたが色々な形でお世話になった方々に心から御礼申し上げます。（渉外 齋藤 暢人）

今回初めて『探求』の編集をさせていただきました。なにぶん初めてのことで、編集作業も遅れがちとなり、執筆者の方々にはご迷惑をおかけしました。お忙しい中、探求への寄稿をご快諾いただいた先生方、並びに研究発表者の方々に改めて感謝いたします。

また、『探求』をお買い求めいただきました皆様方、冊子の体裁や内容についてお気づきになりましたこと、ご要望などありましたら、是非お寄せください。

（『探求』編集 竹内 聖一）